

2008 支局 この1年

▷ 8 ◁

吉野川・竹内 仁志

吉野川市美郷地区で、

が奮闘中だ。

健康増進を売りに観光振

プロジェクトは約二年

食事健康法の一つマクロ

美郷の住民が見せる活

興や特産品

づくりを進

める「キレ

イのさと美

郷」プロジ

エクトが具

体的に動き

始めた。全

過疎防止へ動き活発

「キレイのさと美郷」プロジェクト

込めている。

つながった。

最初の年は、菓草の専
門家の村上光太郎崇城大
学教授らを招いた勉強会
などを開催。今年に入っ
て▽山菜イタドリシジュ
ーと青梅の重製烏梅な
れ、来年以降の商品化に
▽と新特産品の販売開始▽
期待が高まっている。

国内的に注目される上勝町 前、美郷商工会を中心に

ビオティック料理を美郷

ある」とみる。

一の美郷中学校は二〇一

の彩のように、過疎高齢

流にアレンジした農家レ

特産の青梅の価格が十

た。市役所美郷庁舎も庁

化の進む地域に現金収入

ストランの開店▽県が認

家の生活は大打撃。四年

新特産品の都市部での販

を生み、活性化につなげ

定するとししま農林漁家

手するだけの力が地域に

受け入れ態勢づくりなど

られるか。美郷では若手

民宿の第一号、二号認定

前の町村合併以降、小学

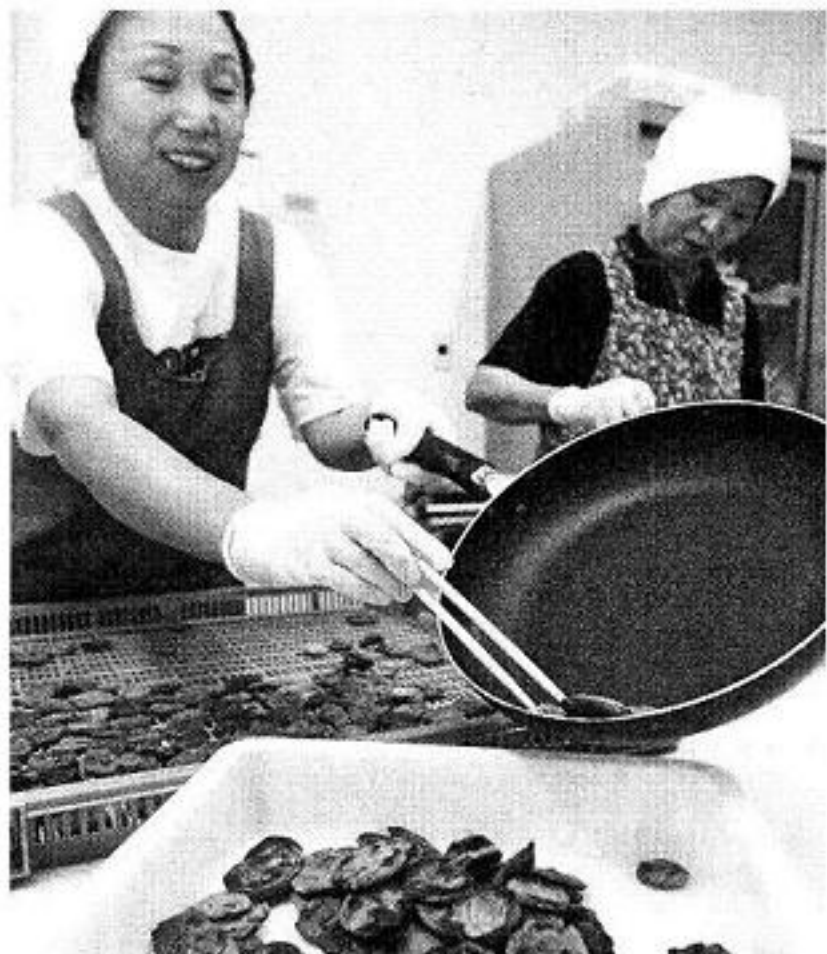
る。前向きにしてい

と呼ばれる五十、六十代

校一校が休校し、地区唯

ないかもしれない。

る。



梅干しを使った新しい特産品を作る
梅農家＝8月、吉野川市美郷